

住民とつながる議会へ

沼田町議会改革 4年間20項目の取り組み

鵜野範之 沼田町議会副議長（沼田町議会議会改革特別委員会委員長）

沼田町議会ではこれまでも議会改革を検討してきたが、本格的な取り組みには至らなかった。今回始めるきっかけとなったのは、二〇一九年四月の選挙で無投票となり、住民から「議員のなり手不足の解消と多様な人材を確保するためには、議員定数の検討など議会改革が必要ではないか」との声が出てきたことだ。

こうした住民の声にこたえるべく、全議員による議会改革特別委員会を設置し、委員会ではそれぞれの議員が考える議会改革のあり方を聞くことから始めた。当然、ベテラン議員、経験の浅い議員、重要性を感じている議員など、それぞれの立場での考え方や思いがある。これらを整理する目的で同年十一月、全議員で議会改革の先進地である茅室町議会と浦幌町議会を視察した。

視察や議員の考えを整理して浮かび上がった二〇項目の課題を検討事項として、委員会での議論を始め、まず議会サポーターと議会モニター制度を新設した。議会サポーターには法政大学法学部の土山希美枝教授と元茅室町議会事務局長の西科純さんに就任していただき、議会モニターは募集により町民男女五名ずつ一〇名の方々になっていた。これによって情報交換やアドバイスを受けられる体制ができ、最初にこの二つの体制を構築した事が議会改革をスムーズに進められた一因であると考えている。

翌年四月には議会サポーター二人による公開講演会「住民とつながる議会の集い」を住民、議会モニター、近隣市町の議員など二二〇名ほど集めて開催をめざしたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、傍聴者数を減らし八月に延期・開催した。ただ、参加された多くの方々に議会の取り組みをご理解いただけたと考えている。

また、傍聴機会の多様化と新型コロナウイルス対策として、庁舎一階ロビーなどで分散傍聴ができる環境を整備し、会場には一般質問を傍聴者に分かりやすく伝えるため、議員からの資料を映し出せる大型モニターを導入した。二〇二一年度にはタブレットも導入し、本会議、委員会での議案、資料などをペーパーレスとした。これによって情報の収集と書類管理が容易となり、効率的な議会運営に大きな役割を果たしている。

そして、映像配信も二〇二二年一月二日定例会で試行し、その結果を踏まえて今後は録画配信や経費、業務の量、担当者などを検討することになっている。さらに、ナイター議会のほか、中学生による子ども議会も開催した。ここでは、自らが作成したパワーポイントを先ほどの大型モニターに映して一般質問を行い、議会を体験してもらう活動も始めた。

しかしながら、課題も残っている。まず、SNSの活用は、行政や議会の動向を住民に周知し共

有する上では効果的だが、公平性の担保や事務の煩雑さなどから進め方などの整理が必要である。

議員定数と常任委員会についても、女性議員など多様な人材が求められていること、二つある常任委員会の維持には最低限の議員数確保も必要と判断し、議員定数は現状維持とした。そして、議員報酬増額についても必要性を協議してきたが改正には至らなかった。また、住民に対して議会に関するアンケート調査も実施したが、議会に対する関心や理解はまだまだ足りていないことも実感した。

前述した課題はあるものの、議会改革のこれまでの検討、取組みの総括として、「沼田町議会基本条例」を二〇二三年三月定例会で上程し、今期の結論とすることとした。次期議会では、議会改革の大きな目標である政策形成サイクルの導入を目指し、残された課題に取り組んでいくこととし、これからも「住民とつながる議会」をスローガンに、開かれた魅力ある議会としていきたい。

へうの のりゆき

検討20項目

- 1) 議会の運営
 - ①議会基本条例の制定 自治基本条例 議員倫理条例
 - ②常任委員会の体制
 - ③通年議会制による運営
 - ④議会モニター制度の設置
 - ⑤議会傍聴の環境整備（議場の音響、スクリーン当整備）
 - ⑥議会傍聴の推進（サンデー議会、ナイター議会、子ども議会など）
 - ⑦1問1答に係るルールの確認
- 2) 住民に開かれた議会
 - ①全会議インターネット中継、録画配信と会議録の公表
 - ②議会ICTの取り組み タブレット SNS
 - ③議会報告と住民との意見交換の開催
 - ④議会サポーター制度の導入
 - ⑤議会広報誌、議会図書の整備
 - ⑥住民意見の募集（パブリックコメント）
 - ⑦アンケート調査の実施
- 3) 議員活動の向上と倫理
 - ①議会政策形成サイクルの導入と政策討論会の実施
 - ②議会BCP（業務継続計画）の策定
 - ③議員の兼職
- 4) 議員定数など
 - ①議員定数
 - ②議員報酬
 - ③議会諮問会議の設置